

かほだより

30-10号
H30(2018).12.27

長野県伊那家畜保健衛生所
〒396-0026 伊那市西町 5764
Tel: 0265-72-2782, Fax: 0265-72-2765
E-mail: inakachiku@pref.nagano.lg.jp
URL: http://www.pref.nagano.lg.jp/inakachiku/
伊那諏訪家畜畜産物衛生指導協会
Tel&Fax: 0265-76-8086

国境なき動物疾病（越境性動物疾病）

あらゆる“策”で侵入を防ぎましょう！

今年9月に岐阜県で発生した豚コレラは、これまでに同県内の6農場で発生し、岐阜県・愛知県で野生イノシシ81頭に感染を確認。感染経路として海外からの旅行者が違法に持ち込んで廃棄された食品に豚コレラウイルスが含まれていて、それを食べたイノシシが最初に感染し、野鳥などの野生動物や人の往来で養豚施設に持ち込まれたと推察されています。

一方、アジア諸国では他にもアフリカ豚コレラ、口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザなどが続発しています。

引き続き日本を取り巻く情勢を注視し、**年末年始は人や物の往来が激しくなるため、畜産農家の皆さんは防疫対策の徹底をお願いします。**

<近隣国及び国内における越境性動物疾病の状況>

豚コレラ	国外：中国、韓国、ロシアで発生が継続している。2017年は中国で23例発生 国内：9月に岐阜県で26年ぶりに発生、26日現在6例の発生が確認され、岐阜県・愛知県の野生イノシシ81頭で感染を確認（12/26現在）
アフリカ豚コレラ	国外：8月に中国で初めて発生、以降、110カ所で261千頭以上を殺処分 国内：清浄国（※10月に中国からの旅客の携行品（豚肉ソーセージ）から本病の遺伝子を検出）
鳥インフルエンザ	国外：10月以降、韓国では野鳥の糞から30件を超える低病原性ウイルスを確認 国内：千葉県、愛知県、鹿児島県で野鳥のフン等から低病原性ウイルスを確認
口蹄疫	国外：2018年は中国では0型、韓国ではA型が散発している。 国内：清浄国

伝染病の防疫対策は消毒や農場専用着への着替え、来場者の制限、防鳥ネット、野生動物対策など基本的な対策を地道に実施しましょう。

①人・物・車両によるウイルスの持込み防止

- ・ 渡航者、部外者の衛生管理区域への立入制限
- ・ 衛生管理区域、畜舎への出入りの際の洗浄・消毒の徹底（消石灰帯等の敷設、踏み込み消毒槽の設置、車両消毒の実施）
- ・ 衛生管理区域専用の衣服、靴の設置と使用の徹底
- ・ 人・物の出入りの記録

②野生動物対策

- ・ 畜舎への野生動物の侵入防止
- ・ 飼料保管場所等へのねずみ等の野生動物の排せつ物の混入防止
- ・ 畜舎周囲の清掃、整理・整頓
- ・ 死亡家畜の処理までの間、野生動物に荒らされないよう適切に保管

③冬場でも畜舎消毒の実施

- ・ 煙霧消毒などで可能な限り定期的な消毒の実施（写真）
（煙霧消毒を御希望する場合は管内の専門業者をご紹介します）



煙霧消毒の状況

冬場の消毒には消石灰を活用しましょう。

比較的安価で安価、周辺環境にも影響が少ない消石灰で消毒しよう！

《石灰の種類》

◎消石灰(水酸化カルシウム)	生石灰に水を反応させて作ったもの アルカリ性が強いので取扱う際はマスク等を着用
○生石灰(酸化カルシウム)	石灰石を高温で焼いて作ったもの 水を加えると高熱を発するため、取扱や保管に注意
×石灰石(炭酸カルシウム)	自然に存在
×苦土石灰、有機石灰	土壌のpH調整作用程度で消毒効果は期待できない

《消石灰を使う》

○ 特徴

- 強アルカリ性による殺菌作用(pH12以上)
※消石灰は一度濡れて乾燥すると炭酸カルシウムへと変化、pHが低下し消毒効果はなくなります。
- 野生動物の忌避効果(ネズミ等は嫌がって近づかない≒侵入予防)
- 環境への影響少

○ 使用方法

- 地面が白く覆われる程度(1㎡当たり0.5~1.0kg程度)に散布
 - ・雨に濡れて固まるまでは効果が持続
 - ・車輜や畜舎の出入りに適度に散布し、タイヤの消毒や踏込槽の代わりとして、農場敷地外縁部、畜舎周辺、畜舎内の通路等にも散布すれば野生動物の忌避・侵入防止効果が期待される。
- 踏込消毒として使用
 - ・消毒槽に粉末、消石灰乳、石灰水(1%溶液:1%の水に消石灰10g)として使用

《消石灰の撒き方の工夫》

狭い範囲の場合は、金属製の“ゆであげザル”を利用すると上手に撒くことができます。
広い範囲の場合は、下図の様な採集コンテナ(底が網目のもの)を利用すると効率的です。

